

経営比較分析表（令和5年度決算）

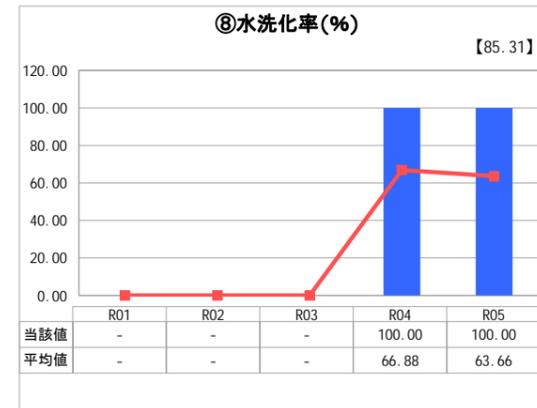
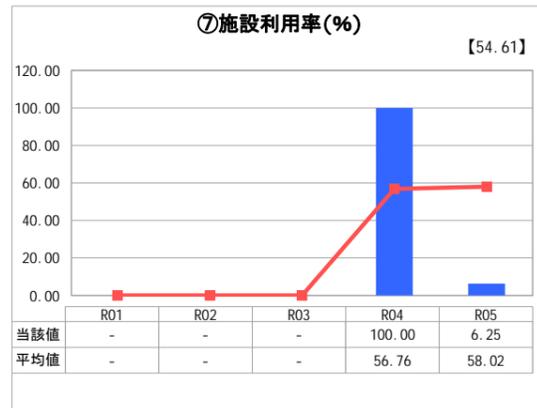
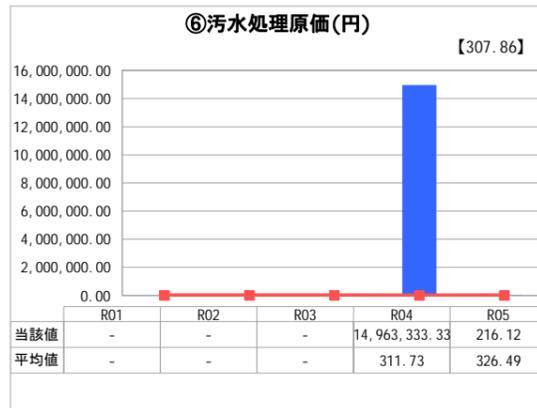
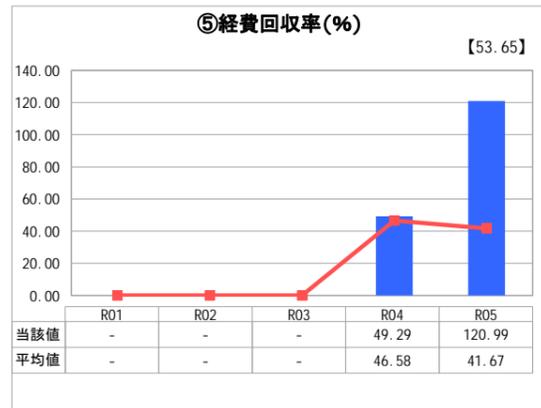
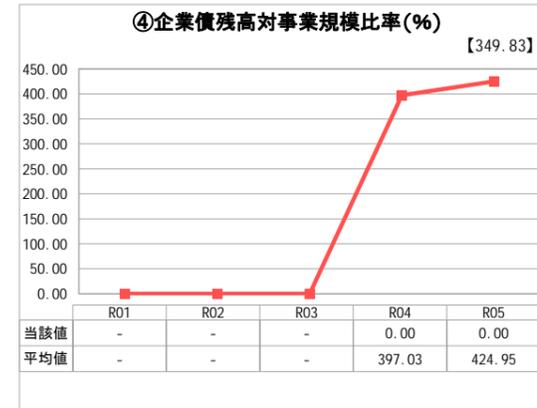
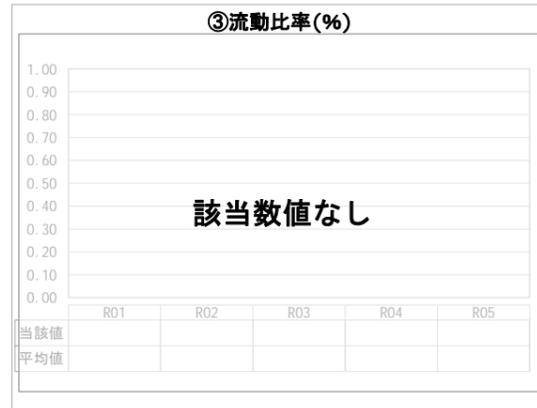
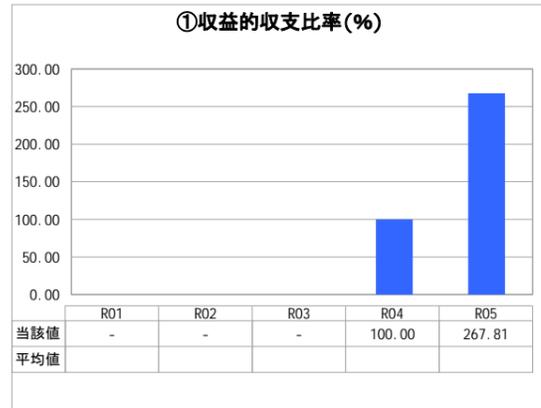
兵庫県 神河町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.28	100.00	4,400

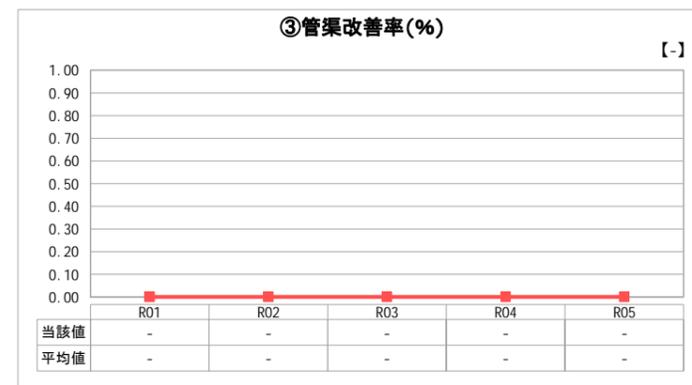
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,391	202.23	51.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
29	6.99	4.15

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定地域生活排水処理（浄化槽事業）は令和4年度まで一般会計で事業を行ってきたが、令和5年度に特別会計に移行し、令和6年度からは企業会計に移行して事業を行っている。収益的収支比率が267%となっているが、特別会計から企業会計に移行するにあたり、打ち切り決算を行った際、一般会計からの繰入額が確定しておらず、概算で繰入を行ったためである。令和6年度に精算を行い、返還を行っている。企業会計に移行していくことで、企業債の利用により財源の確保に努め、経営の健全性を保つ。また、将来にわたり安定的に継続していくための中長期的な経営の基本計画として経営戦略の策定を令和7年度に予定している。

2. 老朽化の状況について

個人設置で町管理の浄化槽の多くが耐用年数を迎えている。老朽化が著しい物から、市町設置型に変更し更新を進める。

全体総括

当町の水洗化率は99%と高い数字で住民の皆さんに快適な生活環境の提供ができています。特定地域生活排水処理（浄化槽事業）は令和4年度から更新事業が始まり、財源の確保を含め、安定的に事業を進めるように令和6年度から企業会計に移行している。今後10年間で約450基の浄化槽の更新を行っていく。令和6年度に企業会計に移行した経緯もあり、経営戦略の策定ができていないため令和7年度に予定している。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。